



国際会長 シアナヴァスカーン (インド)
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港)
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C)
 湘南・沖縄部長 久保勝昭 (横浜つづみC)
 クラブ会長 鈴木 茂

～2024-25年度主題～

“Together for better world”
 “Make a Great Impact”
 “Our Future Direction”
 “共に出会い、共に喜びを！”
 “受けるよりも、与えるは幸いなり”

～今年度クラブ役員～

会長 鈴木 茂
 副会長 坂口 直樹
 書記 大野 君枝
 会計 鈴木 恭子
 直前会長 今城 高之
 監事 辻 剛

今月の聖句

お言葉どおり、
 この身に成りますように
 ルカによる福音書1章38節



巻頭メッセージ

今城宏子

イエス様のご降誕を待ち望むアドヴェントが、今年は12月1日から始まっています。讃美歌21にはアドヴェントの讃美歌が17曲（クリスマスの讃美歌は29曲）収められています。その中には231番「久しく待ちにし」 241番「来たりたまえわれらの主よ」 242番「主を待ち望むアドヴェント」などおなじみの讃美歌が多くありますが、今、私の心に刺さってくる讃美歌は243番「闇は深まり」です。作詞者のヨッヘン・クレッパー（1903-42）は北ドイツのポイデンに牧師の子として生まれ、作家・詩人として活動した人です。2人の娘を持つユダヤ人女性と結婚したため、ナチス政権下に於いて次第に追い詰められ迫害されていきました。家族を国外に逃がそうと様々な働きかけを行いましたが、全ての希望は打ち砕かれ、既にイギリスに亡命していた長女以外の3人は一緒に死についたのです。その中でも神様への信頼は揺らぐことがなかったことが日記に記されています。（詳しくは宮田光男氏の著された「いのちの証人たち-芸術と信仰」（岩波書店）をお読みください。）いま、私たちを取り巻く世界ではウクライナ、パレスチナをはじめ戦禍による悲惨な状況が続く現場から目をそらさせません。また、ミャンマーやスーダンなど内戦と飢えなどに苦しむ現場も忘れてはならないでしょう。まさにクレッパーが生きていた時代と同じことが起こっているのではないのでしょうか。



人の罪の深さを思います。私たちにできることは何かを問い続けたいと思います。そしていつもイエス様が共に居て下さる、今年も生まれてきてくださる希望を信じて、クリスマスを迎えたいと思います。 讃美歌243番の歌詞を記します。

- 闇は深まり、夜明けは近し。
 明けの明星輝くを見よ。
 夜ごとに嘆き、悲しむ者に、
 よろこびを告ぐる 朝はちかし。
- おさな子となり 僕となりて
 み神みずから この世にくだる。
 重荷負うもの かしらを上げよ。
 信ずるものはみな 救いを受けん。
- 闇は去りゆく。目さめて走れ、
 救い秘めたる あの馬小屋へ。
 恵みの光 照り輝きて
 悩み悲しみは もはやあらず。
- 闇の中にも 主は歩み入り、
 かけがえのない われらの世界
 死の支配より 解き放ちたまう。
 来たらしめたまえ 主よ、み国を。

皆様、平和なクリスマスを迎えられますよう、心からお祈りいたします。 MERRY CHRISTMAS !

11月のデータ

例会出席	13名	在籍会員数	16名	各種記録	11月実績	年度累計
メンバー	11名	月間出席者数	11名	スマイル	12,800円	12,800円
ビジター	1名	メキップ	1名	—	—	—
ゲスト	1名	月間出席率	75%	—	—	—



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

例会報告

2024年11月度本例会報告

大野君枝 記

日時

2024年11月22日（金）17:30～19:00

場所

かけはし都筑

出席者

鈴木茂、今城T.H、辻T.T、岡田、坂口、三木、鮫島、大野、森山担当主事（11名）

（ゲスト・ビジター）佐竹博さん、元会員 横田さん

司会 辻剛T 受付・記録 大野

～例会概要～

1. 開会点鐘・祈祷・聖句

- ◇ 会長による開会点鐘
- ◇ ワイズソング・ワイズの信条を唱和
- ◇ 聖句・祈祷（森山担当主事）：「ローマ人への手紙」より「世界中の子供たちと喜びも悲しみも共感していきたい」という願いを込めて祈祷。

2. 会長挨拶 鈴木会長より、当日の卓話者である横浜YMCA総主事・佐竹博氏の紹介が行われた。

3. 卓話

テーマ：「創立140周年を迎えた横浜YMCA」

佐竹博氏経歴

1990年 横浜YMCAに入職。北YMCAを皮切りに川崎、山手台センターなどで勤務。1997年に管理職に昇進。2002年に受洗。2020年より12代目総主事として活躍中。

歴代11人の総主事の方々の偉大な業績を話され氏が大切にされてきたことは、歴史から学ぶことであり「過去を主体的にとらえることなしに、未来への展望は立たない」を信条としている

（イギリスの歴史家E.H.カーのことば）

<https://www.iwanami.co.jp/author/a111447.html>（参照）

卓話内容

1. YMCAの歴史
 - ◇ **1884年創立**。1890年には廃娼運動を起こし嘆願書を衆議院に提出。
 - ◇ 1923年の関東大震災では被災市民の支援を実施。翌年から事業復活。
 - ◇ 戦時中（1894～1945年）、非戦論を唱えながら軍隊慰労事業も行う。
 - ◇ 1916年、常磐町の新会館で誕生したバスケットボール・バレーボールチームは輝かしい実績を残す。
 - ◇ YMCAの現在と未来
「過去を主体的にとらえることで未来を考える」という姿勢を重視。
 - ◇ キリスト教的価値観に基づき、子どもたちの成長を祈りつつ支援活動を続ける。
 - ◇ YMCAとしての役割を果たしているか、常に検証を行いながら取り組んでいる。
4. **アピール・報告**
 - ◇ **献金活動**：全員で献金（スマイル）の実施に努める。
5. **YMCA報告**（森山担当主事）
11月3日のバザーには約800名が来場し、募金額は29万円に達した。
6. **Happy Birthday** 該当者なし。
7. **閉会点鐘** 鈴木会長による閉会点鐘で例会を終了。
8. **懇親会**
終了後、センター南「バンサン」にて懇親会を開催。11名が参加。



集会報告

大和クリエイティブYサービスクラブ・チャーターナイト

鈴木 茂 記

開催日時：2024年11月24日（日）13:00-16:00

会場：大和 北京飯店

スポンサー：湘南・沖縄部

出席者：72名（当クラブからの参加者：辻(Tsu)、森山担当主事、鈴木(S)）。ワイズからは新クラブメンバー7名（1名欠席）、山田公平・東日本区理事、佐藤重良・直前理事、山下 真・次期理事の他、北海道部、関東東部、東新部、あずさ部、湘南・沖縄部、富士山部、六甲部（西日本区）の東西7部に及ぶ各部からの参加者があった。

ゲスト 田口 努：日本YMCA同盟総主事
 （敬称略）佐竹 博：横浜YMCA総主事
 小谷田つとむ：大和市長
 佐藤弥斗：座間市長。

「大和クリエイティブYサービスクラブ」のチャーターナイトが、70名以上の 出席者を得て、盛況裡に開催された。湘南・沖縄部としては、「横浜つるみクラブ」以来の5年ぶりとなる新クラブの誕生であり、コロナ禍により3年以上もワイズ活動が低迷を余儀なくされた後だけに、新クラブ誕生を祝う会場は、喜びと祝福の空気に包まれた。

新クラブの国際協会加盟認証状伝達式が山田公平・区理事によって執り行われ、「大和クリエイティブYサービスクラブ」がここに正式に誕生した。伝達式に先立って行なわれた「設立経過報告」で、小松仲史新クラブ会長から、

2年前に新クラブの立上げを準備したが、当初構想した10名程のメンバーによる新クラブの立上げ計画は、諸般の事情により断念せざるを得なかったという挫折を経て、新たなメンバーによる今回の新クラブ立上げにこぎつけたとの説明があり、困難に怯まない小松会長の熱意に対し、会場から賞賛の聲が上がった。

ゲストの方々からの祝辞を経て、第2部の祝宴に入り、北京飯店の中国料理を賞味しながら、アトラクションとして“Creative Arts Tokyo”によるミュージカルが披露された。

最後に湘南・沖縄部の辻 剛・監事が閉会の言葉として、次のような掛詞を紹介し、好評であった。

「大和クリエイティブYサービスクラブとかけ新幹線ととく、その心は『のぞみ』があります」。

以上



トピックス

厚木クラブ創立20周年記念例会

坂口 直樹 記

去る12月7日（土）、本年9月5日に創立20周年を迎えた厚木クラブの20周年記念例会が厚木YMCAにおいて、開催されました。記念例会には、クラブメンバー8名と来賓・ゲスト21名の合計29名の参加があり、全員で、厚木クラブの20歳の誕生を祝うと共に、参加者同士の懇親を深めました。

当クラブからは、鈴木会長、坂口副会長が出席して、我々の2年先輩である厚木クラブの20周年記念を祝いました。

記念例会は、第1部で、佐藤節子会長による開会点鐘、ワイズソングの斉唱、来賓の挨拶など記念式があり、第2部では音楽演奏、第3部は鈴木つづきクラブ会長の乾杯で始まる記念祝宴会が行われました。厚木クラブの歴史やチャーターナイトの思い出話に花が咲き大いに楽しい記念例会でした。



佐竹博横浜YMCA総主事、久保勝昭湘南・沖縄部長、田中博之元アジア太平洋地域会長なども参加しての記念例会でした。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

会議報告

2024-25年度 湘南・沖縄部 第2回評議会

坂口直樹 記

日時 2024年11月30日(土) 15:00~17:00
 会場 湘南とつかYMCA 1階ホール
 出席者 会場 17名、委任状12名 合計29名 及び
 辻監事 (Zoom参加)
 当クラブ出席者 鈴木 (会長)、坂口 (副会長)、
 大野 (書記)、辻 (部監事)

会議は板崎部書記の司会の下進められ、久保部長の開
 会点鐘、出席者によるワイズソング斉唱、ワイズの信条の
 唱和、阿部部担当主事による聖書朗読・開会祈祷、久
 保部長による挨拶 (特に大和クリエイティブ Yサービスク
 ラブの設立についての謝辞) があった。
 次いで、久保部長の議長のもとで議事に入り、次の諸議
 案の提案がなされ討議・議決を行った。

【議案】

- 第1号議案 部則改正の件
 提案者：久保部長
- 第2号議案 部則細則変更の件
 提案者：久保部長
- 第3号議案 次々期部長(2026-2027年)
 候補者専任の件 提案者：久保部長
- 第4号議案 新クラブ設立一時金の件
 提案者：久保部長
- 第5号議案 地域奉仕・YMCAサービス事業
 について 提案者：山田Yサ事業主査
- 第6号議案 サポートファンド献金 (東日本区
 支援特別献金) の件
 提案者：久保部長
- 第7号議案 Y-Y's新年交流会の件

提案者：久保部長

- *第1号議案では、部名を「かながわ部」とすることが承認
 された。
- *第2号議案では、新大和クラブを部長選出グループAと
 することで承認された。
- *第3号議案では、次々期部長を厚木クラブ佐藤節子ワ
 イズとすることが承認された。
- *第4号議案では、新グループへの支援金を16万円とす
 ることで承認された。
- *第5号議案では、合同親睦会を2025年4月12日
 (土)~13日(日)に行うことで承認された。
- *第6号議案では、部としての献金は行わないことで承認
 された。各クラブ・個人で任意に献金する。
- *第7号議案では、新年会を2025年1月18日(土)18時
 から心龍 (中華街) で行うこと承認された。

【報告・連絡】

部長、各主査、クラブ会長及び部担当主事から以下の説
 明・報告があった。

- 1) 久保部長 部大会報告、東日本区役員会報
 告、部長活動報告 (各クラブ公式訪問等)
- 2) 各事業主査報告
- 6) 各クラブ会長活動報告
- 7) YMCA報告 12/21クリスマス礼拝案内

【監事講評】

最後に辻監事からの講評を経て、久保部長による閉会点
 鐘があり終了した。

以上



TKB便

12月のカードの絵柄は、当然のことなが
 らクリスマス、今年はサンタさんをフィーチャーしました。
 みやま荘 (高齢者施設) の皆さん、つばめの杜保育
 所のちびっこ達にそんなプレゼントが届くのでしょうか。これ
 から益々寒さがつのる東北の皆さんには、心も体も温
 まる素敵なプレゼントが届くことを願っています。
 私たちが今、何もして差し上げられない能登災害 (震
 災と豪雨) の方々にも思いをはせて、一日も早い復興
 を心よりお祈りしております。 何が出来るか皆で考えて
 みませんか。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

10月より横浜YMCA全体で、BAPY基金募金キャンペーンを実施しております。キャンペーンの取り組みとして、横浜北YMCAでは11月24日（日）に、ファミリー向けのプール解放とウォーターボール体験を実施いたしました。ウォーターボールとは、人が中に入れるサイズの大きなビニール製のボールで、そのボールに入って水の上を動くことができます。当日はのべ34名のお子さまとその保護者の方が参加してください、11,500円の募金が集まりました。台を使って、滑り台を作って遊んだり、なかなかできないウォーターボールの体験をしたりして、みなさん楽しそうに参加をしてくださっていました。同様の内容で、12月15日（日）にもキャンペーンを実施します。参加者募集が始まっておりますが、すでに20名を超えるお申込みがきております。キャンペーンのお知らせを会員のみなさまにしてありますが、メール配信や、館内掲示での告知だけでなく、スタッフひとり一人が、BAPY基金の必要性を感じ、伝えていくことも重要だととらえています。今年度も、BAPY基金を利用して、年間プログラムやキャンプなどの季節プログラムに参加することができた子どもたちは多くおり、参加した子どもたちや保護者の方からは、とてもよい機会になったとの声を多くいただいています。募金が子どもたちの良い体験の機会につながっていることを、多くの方に伝えられるように努めていきます。

横浜YMCA全体では、このキャンペーンで150万円の募

金を集めることを目標としており、1月からはキャンペーンの第二弾がスタートします。北YMCAでもまた新たな企画を計画しておりますので、引き続き、会員のみなさまへBAPY基金へのご理解とご協力をいただけるよう取り組んでいきます。

※BAPY基金とは、“Be A Partner of the Youth”の頭文字をとったもので「子ども達（青少年）のパートナーになろう」という意味です。経済的な理由でYMCAの諸活動に参加したくても参加できない子ども達（青少年）に向けて、費用の一部または全額を基金より支援するプログラムです。



会議報告

12月度事務例会/クリスマス祝会

大野 君枝 記

日時 12月10日（火）15:00～

場所 夢Café

出席者 今城T.H、大野、岡田、坂口、鮫島S.H、
鈴木S、辻T.T、三木、

ゲスト 中村真知子さん、東山幸子さん、
横田孝久さん、松岡直樹さん

1. 協議事項

東日本区より、国際会費の負担増（円安要因）による財政難を補填する目的のサポート要請が寄せられている。自助努力なしにいきなり献金を求めることへの疑問はあるが、結論としては1万円の献金とする。個人献金は大いに結構であるが、基本は、区の運営については会費でまかなってほしいとの意見。

2. アピール。報告

①先の部評議会で、現湘南・沖縄部は「かながわ部」と改称することとなったが、今後区代議員会、国際協会の承認が必要である。

②2026-2027年度の部長は、Aグループ佐藤節子さん（厚木C）引き受けてくれることが内定したが、会

計、もしくは書記を 当クラブから出してほしいと要請あり。

③ 厚木クラブの20周年記念会に、当クラブから鈴木会長と坂口副会長が出席し、とても良い会であったと報告あり。都筑クラブ20周年行事の参考にする。

④去る7日、ボッシュホールの見学会に今城T・H、大野が参加。設備は申し分ないが、収容人数、車いす対応に課題もあり、まずは抽選に当たらなければならないという難関があるので、別の会場も視野に入れつつ検討が必要ということになった。

⑤YMCAからY.Y協議会の報告。青少年基金についての説明は担当者ご欠席で次回になった。

3. クリスマス祝会

ゲストも交えて、ケータリングのお料理とワインとで楽しい祝会の後、皆で一品ずつ持ち寄って、賑やかにクリスマスのプレゼント交換をした。懇談の時は楽しく、時間を忘れるほどであったが、最後に今年の鈴木会長はじめ皆の働きに感謝しつつ、来年の皆の健康とつづきクラブの更なる発展を祈った。 **（写真次頁へ）**

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

坂口副会長の音頭で乾杯！



会議報告

第104回Y-Y's協議会 報告

鈴木 茂 記

開催日時： 2024年12月3日（火）19:00-20:30
 会場： 横浜中央YMCA 608室+Zoom
 担当クラブ： 横浜つるみクラブ
 出席者： 21名（当クラブからの出席者：坂口、森山担当主事、鈴木S、辻Tsu（Zoom）

【概要】

1. 開会礼拝：益 聡・横浜つるみクラブ担当主事による聖書朗読、祈祷。
2. 挨拶：
 - ①佐竹博・横浜YMCA総主事：YMCAとワイズ各クラブとの話し合いを通して、YMCA活動を前進させてゆきたい。
 - ②久保勝昭・湘南沖縄部長：さる11月24日（日）、大和クリエイティブYサービスクラブのチャーターナイトが執り行われ、湘南・沖縄部に新クラブが誕生した。
3. 協議 司会：渡辺光枝・横浜つるみクラブ会長
 YMCA・ワイズ合同新年会の開催の件
 久保湘南・沖縄部長から、2025年1月18日（土）18:00より、中華街・「心龍」にて開催したいとの提案があり、出席者全員了承。会費@5,000円。
4. 報告
 - ① 第26回横浜YMCA国際チャリティーラン

- 数、各グループの優勝チーム、収入募金総額等の報告があった。
- ② 横浜つづきクラブ・You & I コンサート報告：さる9月28日（土）開催の第12回コンサートに関し、坂口直樹副会長作成のパワーポイント画像に基づいて、報告、紹介が行われた。報告担当・鈴木会長。
 - ③ 2024年度 国際地域協力募金報告：柳原絵里子担当主事より、今年度の募金目標額、募金協力の呼びかけと現時点での募金実績の報告があった。
 - ④ 大和クリエイティブYサービスクラブのチャーターナイト報告：久保湘南・沖縄部長から、上記新クラブ設立の報告があった。
 - ⑤ 第2回湘南・沖縄部評議会報告：久保部長から、さる11月30日（土）開催の部評議会において、湘南・沖縄部の新クラブ名を「かながわ部」とすることが決定したとの報告があった。なお、実際に部名が変更されるのは、今後東日本区役員会の承認、及び国際協会の承認を経た後になるので、しばらく先になる。
 - ⑥ 各クラブ報告：新設の大和Yサービスクラブを含め、各クラブから報告あり。
- 次回105回：2025年3月4日（火）19:00～20:30、担当・横浜クラブ。

(完)



2024年最後のブレンとなりました。本年一年間の皆様のご協力に心より感謝いたします。来年も引き続きよろしくお願いたします。良きクリスマスと明るい新年を迎えられますよう心よりお祈りしております。（編集子）



“To acknowledge the duty that accompanies every right”